豊友会東京支部　2023 年度秋の集い報告

飯島　弘

本年は 10 月 27 日（金）に池袋のホテルメトロポリタンにて開催されました。今回の出席者は 143 名で、昨年よりも多くの方に出席していただきました。司会の中島昭夫理事の開会宣言の後、本年 6 月の春季総会以降に逝去された 10 名のお名前が鈴木麻弥理事により読み上げられ、全員で黙祷を捧げました。

土屋理事長のご挨拶では、就任して半年が経過して改めて豊友会を会員の「繋がり・交流の場」と位置づけ、会員と豊友会、エーザイとの互いの繋がりが提示されました。また現在の会員相互の交流ツールである支部総会、同好会、豊友会だより、ホームページについて今後の改善項目を挙げ、魅力ある「場」作りを目指すと締めくくられました。

次に石井三郎支部長は、内藤 CEO（豊友会会長）からの会員に向けたメッセージの紹介、11 月に開催予定の筑波研究所見学会の案内などの後、会員の人生を充実あるものとする一助として東京支部の役員とともに尽力するとされました。

春季総会以降に入会された新会員 19 名と、本年度下期に喜寿を迎えられる会員 22 名のお名前が中島理事から紹介され、当日出席された 2 名の喜寿会員に土屋理事長から記念品が贈呈されました。

前半の最後には、今回初めて動画により同好会活動が紹介されました。全 11 同好会から工夫を凝らした約 3 分のプレゼンテーションで活動内容が紹介され、出席者からはわかりやすかったとの評価をいただき、入会者の増加につながることを期待しています。

休憩を挟んで後半は、豊友会員でプロのギタリストとして活躍されている長洲毅志さんのギター演奏会でした。

長洲さんは 1979 年に入社され、35 年間研究部門に在職されました。2014 年 3 月に退職された後、長年親しんできたギターの演奏家に転じられました。

今回は、得意としている様々なリズムを持つ南米の楽曲を中心に、曲の解説も交えながら 9 曲を演奏していただき、出席した会員は、じっくりと楽しむことができました。

その後懇親会は、喜寿を迎えた大辻　雄郎さんのご挨拶と乾杯で始まり、久しぶりの再会で旧交を温める笑顔のグループが会場内にたくさんでき、にぎやかなうちにお開きとなりました。